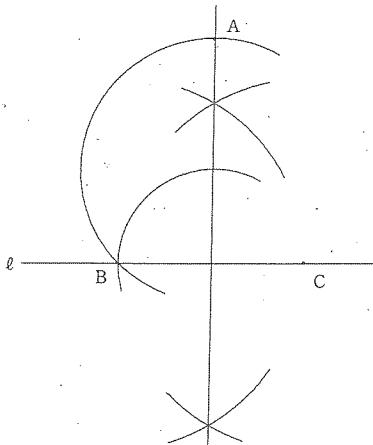


1		点
〔問 1〕	$3 + \frac{\sqrt{2}}{5}$	5
〔問 2〕	$x = \frac{19 \pm \sqrt{29}}{2}$	5
〔問 3〕	$\frac{1}{3}$	5
〔問 4〕	A= 62	5
〔問 5〕 解答例		5



※ □の欄には、記入しないこと

2		点
〔問 1〕	$a = \frac{1}{2}$	7
〔問 2〕	$y = 4ax - 8a$	8
〔問 3〕 解答例	【途中の式や計算など】	10

合 計 得 点	受 檢 番 号
100	

3		点
〔問 1〕	$\sqrt{10}$	7
〔問 2〕 解答例	(1) 【証明】	10

△ABC と △MQPにおいて、

$$\angle PAQ = \angle BAC = 90^\circ$$

よって、線分 PQ は円 O の直径であるので、半円の弧に対する円周角より、 $\angle QMP = 90^\circ$ つまり $\angle BAC = \angle QMP$ ①

また $\angle BAC = 90^\circ$ より、線分 BC は 3 点 A, B, C を通る円の直径なので、点 M は 3 点 A, B, C を通る円の中心である。

よって、 $AM = CM$ であり

$$\angle ACM = \angle CAM$$
 ②

弧 QM に対する円周角は等しいので、

$$\angle QAM = \angle MPQ$$
 ③

$\angle ACB = \angle ACM$, $\angle CAM = \angle QAM$ より
②, ③ から $\angle ACB = \angle MPQ$ ④

よって、①, ④ から 2 組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ABC \sim \triangle MQP$

4		点
〔問 1〕	4 本	7
〔問 2〕		8
〔問 3〕 解答例	【途中の式や計算など】	10

【植える位置(点)の順番】の②から、6つの点に花を植えることが繰り返されている。4種類の色の花を植えるので、6と4の最小公倍数の 12、つまり 12 本の花を植えると同じ植え方を繰り返す。

従って、4列ごとに同じ植え方が繰り返されるので、赤の花が線分 EF 上に植えられている点は、40 cm ずつ離れている。…[1]

最初に赤の花を線分 EF 上に植える点は、(20, 30) である。…[2]

[1], [2]より、線分 EF 上に植えられた赤の花を数えるとき、t 本目の赤の花が、(n; 30) に植えられているので、 $n = 20 + (t-1) \times 40 = 40t - 20$ と表せる。

したがって、 $n = 40t - 20$ である。

ただし、AB = 10 m なので、線分 EF 上に植えることができる赤の花は 25 本。よって、t の範囲は $1 \leq t \leq 25$ である。

小計 1	小計 2	小計 3	小計 4
25	25	25	25

〔問 2〕	(2)	$\frac{1}{4} \pi$	cm	8

(答え) $n = 40t - 20$
